枯葉　～夜の門～（1946）

LES PORTES LA NUIT

メディア 映画
ジャンル ドラマ
製作国 フランス
色彩 B&W
時間 105分
公開情報 劇場未公開・ビデオ発売

【解説】

カルネ＝プレヴェールの“詩的リアリズム”コンビの戦後第一作だが、戦争の疲幣を重く引きずった内容なのに、台詞の例のごとくの調子の良さが相容れず、３６年の「ジェニイの家」以来のこの名コンビは実質的にここで解消となった（翌年「花の年頃」という作品にとりかかったが頓挫）。従って、あの“枯葉”が主題歌として唄われる作品であるにも関わらず、日本では未公開。

パリに残された家族にレジスタンス仲間の死を伝えに来たディエゴは、当の本人にそのアパルトマンで再会。ナチの手から警官に渡されて助かったのである。彼、レイモンを裏切ったのは実は、英雄扱いで先に帰還していたギーだった。その姉のマルーは別れを決意した夫と共にパリに舞い戻ったところをディエゴと知りあい、運命の相手と互いに確認するに至る。裏切りの発覚を恐れるギーに、義兄はディエゴに対する嫉妬から、銃を渡し、その殺害をけしかけるが……。

死神のように放浪する、狂言廻し的な謎の男の吹くハモニカが“枯葉”のメロディを奏でる場面は印象的だが、解放まもない４５年のパリの冬を背景にした、煮え切らないメロドラマにすぎない。主演カップルは当初、ギャバンとディートリッヒに決まっていたが、ディートリッヒが脚本の出来に不満で降り、彼女にお熱だったギャバンもついでに降板してしまい、まだ若いモンタンとレジアニが抜擢されたというウラ話がある。

【クレジット】

監督	マルセル・カルネ	Marcel Carne
製作	ピエール・ローレン	Pierre Laurent
製作総指揮	レイモン・ボルデリエ	Raymond Borderie
脚本	ジャック・プレヴェール	Jacques Prevert
撮影	フィリップ・アゴスティーニ	Philippe Agostini
音楽	ジョセフ・コズマ	Joseph Kosma
出演	ピエール・ブラッスール	Pierre Brasseur
	セルジュ・レジアニ	Serge Reggiani
	イヴ・モンタン	Yves Montand
	ダニー・ロバン	Dany Robin
	ジュリアン・カレット	Julien Carette
	ジャン・ヴィラール	Jean Vilar

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.